【疾患】★薬疹

CLN15

（注意） □:複数選択　○:単一選択

入力機会

現在の状態

診断

経年

更新情報があるとき

○ 中毒性表皮壊死症（以下TEN）

※overlap SJS/TEN（表皮剥離面積10-30%）はTENに入れる。

TENの診断基準 以下の3項目を満たす。

1. 体表面積の10%を越える水疱、表皮剥離・びらん。
2. ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群（ssss)を除外できる。
3. 発熱

○ スチーブンス・ジョンソン症候群(以下SJS)

SJSの診断基準 以下の3項目を満たす。

1. 皮膚粘膜移行部の重篤な粘膜病変（出血性または充血性）がみられる。
2. しばしば認められるびらんもしくは水疱は、体表面積の10%未満であること。
3. 発熱

○ 薬剤性過敏症症候群（以下DIHS）

DIHSの診断基準

1. 限られた薬剤投与後に遅発性に生じ、急速に拡大する紅斑。
   しばしば紅皮症に移行する。
2. 原因薬剤中止後も2週間以上遷延する。
3. 38℃以上の発熱
4. 肝機能障害
5. 血液学的異常:a, b, cのうち1つ以上 a. 白血球増多（11,000/mm3以上）
   b. 異型リンパ球の出現（5%以上）
   c. 好酸球増多（1,500/mm3以上）
6. リンパ節腫脹
7. HHV-6の再活性化

○ DIHSの診断基準（上記）1～7全てを満たす。
○ DIHSの診断基準（上記）1～5全てを満たす。ただし、4に関しては、その他の重篤な臓器障害をもって代えることができる。
○ 未入力

○ TEN、SJS、DIHS（上記）以外の中・重症型薬疹（入院加療）

○ 多型紅斑型
○ 固定薬疹
○ 播種状紅斑丘疹型
○ 紅皮症型
○ 蕁麻疹型
○ 紫斑型
○ 扁平苔癬型
○ 光線過敏型
○ 湿疹型
○ その他　（　　）型
○ 未入力

○ 軽症薬疹（外来通院）

○ 多型紅斑型
○ 固定薬疹
○ 播種状紅斑丘疹型
○ 紅皮症型
○ 蕁麻疹型
○ 紫斑型
○ 扁平苔癬型
○ 光線過敏型
○ 湿疹型
○ その他　（　　）型
○ 未入力

○ 未入力

疑わしい原因薬剤

薬剤名　（　　）

区切り文字統一（、）